

典礼のしおり

o Domingo N.º 18
PANB 発行
28 - 04 - 2024

復活節 第五主日

イエスは結ばれて神の不思議な御業を讃えましょう。
イエスはブドウの樹です。私たちはその枝、聖霊なる樹液を受けて私たちキリスト者の命は、養われています。キリストに結ばれて生きて、私たちは健全な枝、良い実を結ぶ相応しい枝になります。聖体祭儀への参加は神の掟を守るよう私たちが勇氣づけます。神が私たちのうちに留まり、私たちが神のうちに留まるとして神を讃えるのです。

入祭唱

新しい歌を神に歌え。神は不思議なわざを行い、諸国の民に正義を現された。アレルヤ。

栄光の賛歌

集会祈願

聖なる父よ、あなたは、キリストによってわたしたちを愛がない、神の子どもとしてくださいます。あなたの愛を受けた民を顧み、御子を信じる人々に、まことの自由と永遠の喜びをお与えください。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

※ 解説 ダマスコで「イエスの名によって」大胆に宣教したパウロは、バルナバのとりのなして、エルサレムで使徒たちと交わりを持ち、「主の名によって」恐れずに教えるようになった。教会は主への畏れをいだき、聖霊の慰めを受けて宣教という道を歩む。

使徒たちの宣教（使徒言行録 9・26―31）

〔その日、〕サウロはエルサレムに着き、弟子の仲間に加わろうとしたが、皆は彼を弟子だとは信じないで恐れた。しかしバルナバは、サウロを連れて使徒たちのところへ案内し、サウロが旅の途中で主に出会い、主に語りかけられ、ダマスコでイエスの名によって大胆に宣教した次第を説明した。それで、サウロはエルサレムで使徒たちと自由に行き来し、主の名によつ

て恐れずに教えるようになった。また、ギリシア語を話すユダヤ人と語り、議論もしたが、彼らはサウロを殺そうとねらっていた。それを知った兄弟たちは、サウロを連れてカイサリアに下り、そこからタルソスへ出発させた。

こうして、教会はユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地方で平和を保ち、主を畏れ、聖霊の慰めを受け、基礎が固まって発展し、信者の数が増えていった。

答唱詩編 〇典 32〇1 〇2 〇4

(詩編 22・26+27a' 28a+27b+28b+29' 31b+32)

朗・神に向かつて喜びうたい、

感謝の歌をささげよう。

全・神に向かつて喜びうたい、

感謝の歌をささげよう。

神の恵みによって、民のつどいで賛美をささげ、

神をおそれる人々の前でわたしは誓いを果たす。

貧しい人はかてに恵まれ、

神を求める人は賛美をささげる。

全・神に向かつて喜びうたい、

感謝の歌をささげよう。

遠く地の果てまで、すべての者が神に立ち帰り、

生きる喜びで彼らの心はいつも満たされる。

諸国の民は神の前にひざをかがめる。

わたしたちの国は神のもの、神は諸国を治められる。

全・神に向かつて喜びうたい、

感謝の歌をささげよう。

彼らは主のわざを次の世代に語り継ぎ、

あとから生まれてくる民に、

神のわざ、その救いを告げ知らせる。

全・神に向かつて喜びうたい、

感謝の歌をささげよう。

使徒ヨハネの手紙(一)ヨハネ 3・18—24)

子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。

これによって、わたしたちは自分が真理に属していることを知り、神の御前で安心できます、心に責められることがあるうとも。神は、わたしたちの心よりも

大きく、すべてを「ご存じだからです。愛する者たち、わたしたちは心に責められることがなければ、神の御前で確信を持つことができ、神に願うことは何でもかなえられます。わたしたちが神の掟を守り、御心に適うことを行っているからです。その掟とは、神の子イエス・キリストの名を信じ、この方がわたしたちに命じられたように、互いに愛し合うことです。神の掟を守る人は、神の内にもとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。神がわたしたちの内にとどまってくださることは、神が与えてくださった霊によって分かります。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

わたしのうちに留まりなさい。わたしもあなたがたのうちにいる。わたしに留まる人は多くの実を結ぶ。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

ヨハネによる福音 (ヨハネ 15・1〜8)

「そのとき、イエスは弟子たちに言われた。」「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。

わたしにつながっていないながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があるがたの内にもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。あなたがたが豊かに実を結び、わたしの弟子となるなら、それによって、わたしの父は栄光をお受けになる。」

信仰宣言

共同祈願

イエズスは、「私と共にいなさい、そうすれば私もあなたと共にいます。」といひます。イエズスと共にいたいという確信をもち、信頼して祈りましょう。

1・初代教会は神への畏敬の念に確立されていきました。主よ、現在、シノドスの過程にある教会も聖霊の導きのもとに、一致団結して、託された使命に忠実に歩むことが出来ますように。

全・主よ、私たちを、ますますあなたに一致させてください。

2・主よ、「貧しい人は食べて満ち足りている」と詩編作者は歌います。社会の周辺にいる人々に援助の手が行き届くよう、社会の共同政策を含め、政府当局に聖霊の息吹を送ってください。(全)

3・私たちは言葉だけではなく、真理と行ないをもつて愛するよう召されました。あなたを信じる人々が限定され、保護された場所から出て、自分のキリスト教の信徒であることを貧しい人々と共に証しすることが出来ますように。(全)

4・キリストはブドウの樹、私たちは、その枝です。枝が幹に繋がっているように、私たちも御子と密接につながっています。それは新しい命の実りを結ぶため

です。復活から生じる新しい命、憐み、平和を實らせることが出来ますように。(全)

5・イエスに留まる人々は多くの実を結びます。私たちの心に秘める願いをお受け取り下さい。(しばらく沈黙して、各自の祈願を捧げる) 主よ、私たちの願いをお聞き入れください。

全・主よ、私たちを、ますますあなたに一致させてください。

司・ぶどうの木である私たちを知り、慈しみをもつて守ってください。神である主よ、私達の祈りを聞き入れてください。私達の主キリストによって。アーメン。

奉納祈願 聖なる父よ、あなたは御子の奉獻によって、わたしたちをまことのいのちにあずからせてください。キリストを知る恵みを受けたわたしたちが、信仰を生活に生かすことが出来ますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

拝領祈願 いつくしみ深い父よ、あなたの民の力となってください。主の食卓で養われたわたしたちが、古い人を脱ぎ捨て、新しいのちに生きることが出来ますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。